

## エリトリア国の概要について

## 位置・気候・面積等（ 外務省ホームページを参考に作成）

位置 北東アフリカの紅海南東部に位置する。首都はアスマラ。

気候 気候は全体として乾燥気候。海岸沿いでは年平均気温約 30 、年降水量は 200mm 以下で大半が雨季の 11～4 月に降る。高原地帯では年平均気温約 20 、年降水量は約 300mm で、雨季は 6～9 月。

面積 11.76 万平方キロメートル  
（北海道と九州を併せた広さと同様）

人口 560 万人（2012 年）

民族 ティグライ、アファール族など 9 民族

言語 ティグリニャ語、アラビア語、諸民族語

宗教 キリスト教、イスラム教他



## 歴史・政治体制・情勢等（ 外務省ホームページを参考に作成）

歴史 1557 年よりオスマン帝国領、1890 年イタリアが支配下に置く。第二次世界大戦中の 1941 年にイギリスがイタリアを駆逐し、保護領とされる。1952 年 国連の決定により、エチオピアと連邦を形成するが、1962 年にエチオピアに併合される。1972 年 エリトリア人民解放戦線（EPLF）が結成、独立運動を展開し、1993 年にエチオピアから独立。

政治体制 エチオピアから独立以来、旧エリトリア人民解放戦線（EPLF）が改組した民主正義人民戦線（PFDJ）率いる暫定政府が、一党独裁制で統治している。

元首 イサイアス・アフォルキ（Isaias Afwerki）大統領（1993 年 5 月就任）

議会 一院制国民議会

情勢 エチオピアとの紛争（1998 年 5 月～2000 年 6 月）により延期されていた民主的憲法に基づく国政選挙は 2001 年 12 月に行われる予定であったが、その後無期限の延期。紛争により破壊されたインフラ復興、兵士の動員解除及び退役後の社会復帰、難民・国内避難民の復帰等、多くの課題を抱える。

## オリンピック関係

1996 年：エリトリアオリンピック委員会設立

1999 年：国際オリンピック委員会正式承認

2000 年：シドニー大会 3 名参加（陸上男子 2 名、陸上女子 1 名）

2004 年：アテネ大会 4 名参加（陸上男子 3 名、陸上女子 1 名）

ゼルセナイ・タデッセ選手が 10,000m で銅メダル獲得

2008 年：北京大会 10 名参加（陸上男子 8 名、陸上女子 2 名）

2012 年：ロンドン大会 12 名参加（陸上男子 10 名、陸上女子 1 名、自転車男子 1 名）

2015 年 8 月 21 日現在、国際パラリンピック委員会に未加盟のため、パラリンピック大会への参加はこれまでないが、東京 2020 大会で車いすマラソンでの初参加を目指している。